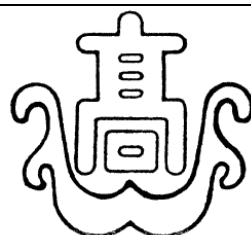




ば はら

波原便り



県立辺土名高等学校
令和8年9月16日(水)
発行者 校長 徳里政哉

第6号

令和8年度 2学期がスタートしました！

9月1日(火)に2学期がスタートしました。始業式では、生徒会新役員の認証式やHR認証式に加え、伝達表彰では第38回NTT西日本杯ソフトテニス大会において、男子ソフトテニス部が4位に入賞。また、吹奏楽では第41回北部地区ソロコンテストにおいて宮里美佑さんがみごと金賞を受賞。そのほかにも情報処理検定ではのべ12名の生徒が合格するなど多くの生徒が様々な分野で活躍を収めました。

2学期は辺高祭(学園祭)など1年で大きな行事があります。校長からはあいさつの中で、友だちとの思い出に残る体験をすることと併せて、辺土名高校らしさとは何かを考えて、ここでしか出来ない経験をして欲しいと伝えました。

これからも謙虚さと周りへの感謝を忘れず、実り多い2学期になることを願っています。

R8 リーダー研修(饒波集落フィールドワーク)



去った7月15日(水)に、生徒会とクラス代表の生徒24名を対象に「令和8年度 リーダー研修」が開催されました。これはリーダーとしての自覚の醸成とお互いの親睦を深めるための取組で、今回は特別に、ケーススタディとして地元の方を講師に招き、饒波集落を巡りながら「自分ならこうしたい集落」を考える取り組みを行いました。

振り返りのアンケートからは、実際に歩き、見て回ることによって理解が深まったという声が多くあり、それぞれの視点で地域の良さや課題などを感じ取った様子でした。

2年生「環境測定Ⅰ」の授業風景

今回は自然環境科2年生に設定している授業「環境測定Ⅰ」の実習風景を紹介します。9月9日に行われた実習「バタフライウォッチング」では、学校を出発して饒波川沿いを上流に向けて約2kmを歩きながら、現れた蝶を記録していきました。

この日は、テレビの収録も同行しての実習で、普段より少し口数少なめ？という声も聞こえましたが、やはり実習の楽しさが伝わる授業風景でした。この実習では、1年間をととして蝶の生息状況を把握することで、自然環境のようすや変化を測ることができます。大宜味の自然から多くのことを学ぶ辺高生です。



「世界自然遺産登録5周年記念シンポジウム」にサイエンス部が登壇しました。

7月26日(日)に世界自然遺産登録5周年を記念したシンポジウムが開催され、第1部のトークセッションになんと辺土名高校サイエンス部の4名が登壇しました。トークセッションでは、「教えて土屋先生！」というタイトルで、HYの皆さんと一緒に世界自然遺産の疑問を先生に解説頂いたほか、先生から「辺土名高校の良いところは？」と聞かれ、希少種など中々見ることができない生き物が学校周辺で見れるなど、生徒の皆さんそれぞれが思う辺土名高校の良さを存分にアピールされていました。

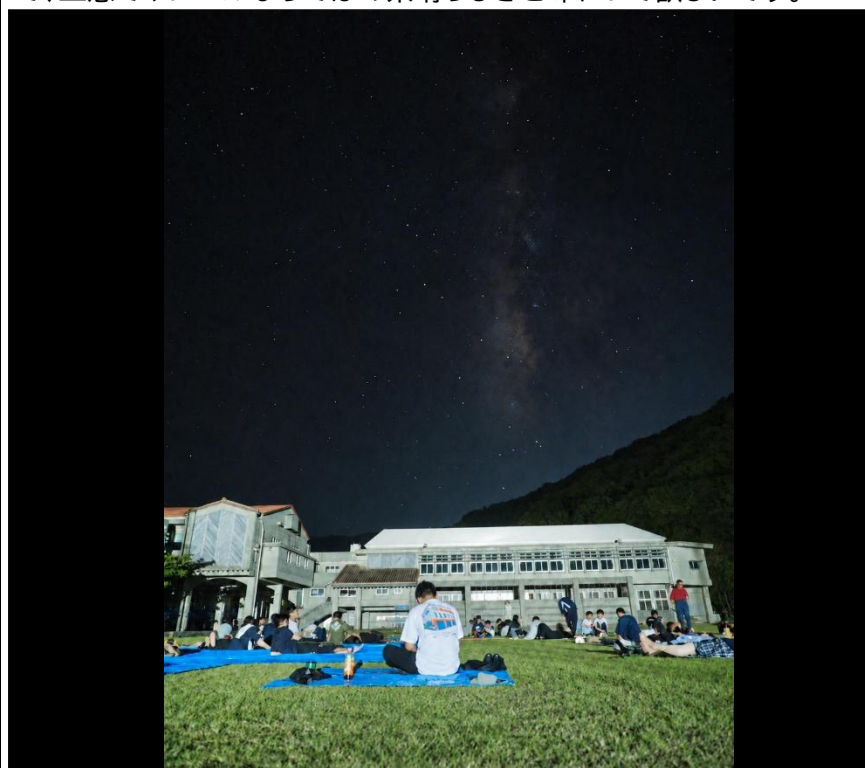
また、会場の新報ホール2階では、部員の解説付きで標本展示があったり、シンポジウム開始前のラジオ収録では、部長と副部長が出演し、生き物鳴き声クイズを出題して大盛り上がりなど、サイエンス部の皆さんの生き物愛が伝わる充実した時間でした。



C.S.コラボ企画

「辺土名高校星空ナイト」×「いぎみ星空浴」

9月12日(土)に大宜味村役場とのコラボ企画で、本校グラウンドにおいて星空観察会を開催しました。当日は講師として星みきさんをお招きし、大宜味小学校、辺土名高校の児童生徒・保護者・職員ら80名余りが参加しました。満点の星空のもと、講師の説明を聞きながら、大宜味村の自然の素晴らしさを改めて学ぶことが出来ました。今回参加出来なかった生徒の皆さんも日頃から感性のアンテナをいっぱいに広げて、五感でヤンバルならではの素晴らしさを味わって欲しいです。



※波原便りは辺土名高校ホームページにて過去号も含めご覧になれます。